



2015年 **夏**号 株主通信



CONTENTS

- P1 トップメッセージ
- P3 サービスのご紹介 au WALLETTカード
- P5 トピックス au SHINJUKU/ミャンマー直営店舗
- P7 特集 社内座談会
- P9 KDDIを歩く KDDI研究所 所長インタビュー
- P10 株主さま広場
- P11 企業情報

新たな事業分野へ挑戦し、 持続的な利益成長を目指して

代表取締役社長 田中 孝司



株主さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

過去最高の売上・利益を達成

2014年度は、招集ご通知の事業報告でお知らせいたしましたとおり、営業収益4兆5,731億円(前期比5.5%増)、営業利益7,413億円(前期比11.8%増)となり、2期連続の2桁成長を達成し、過去最高の決算となりました。

新たな事業分野への挑戦

2015年度は、3M戦略を推進・深化させてまいります。新たな事業分野として国内通信事業者初の店舗を活用したコマース事業(物販)、「au WALLET Market」の提供を開始いたします。これは、ご自宅でもauショップでも、インターネットショッピングができるサービスです。auショップにおいては、インターネットショッピングを経験されたことがないお客さまでも安心してご利用いただけるよう、ショップスタッフがサポートいたします。また、昨年開始した「au WALLET」をはじめとする決済事業や金融事業の拡充をはかり、「au経済圏」を拡大してまいります。

また、グローバルにおいては、昨年度、参入したミャンマーの通信事業で、エリアの拡大と通信品質の向上、販売網やコールセンターの充

実などにより、通信事業の基盤を強化してまいります。同国の経済や産業の発展・国民生活の向上に貢献していくとともに、当社の海外事業における柱の一つとなるよう成長させてまいります。

これらの取り組みなどにより、今年度は「3期連続の2桁成長」となる営業利益8,200億円を目指してまいります。

株主還元強化を継続

株主還元につきましては、2014年度は40円増配の1株あたり170円といたしました。2015年度は、1株あたり65円(2015年4月1日付け3分割後の値。3分割前の基準で195円となります)を予定しております。

また、昨年度開始の株主優待をはじめ、株主さま向けのイベント、会社説明会の開催など、当社をご理解いただく取り組みに引き続き注力してまいります。

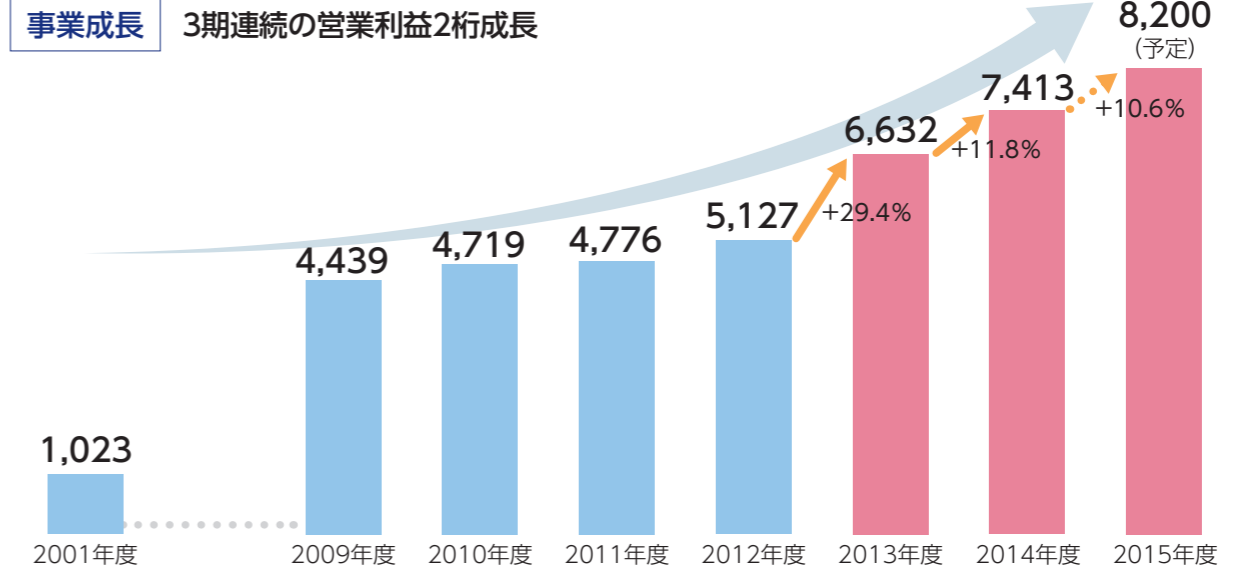
これからも当社は、あらゆる事業活動を通じて、世界中の人々に感動・安心・幸せ・笑顔をお届けし、社会の発展に寄与するとともに、持続的な利益成長と株主還元の強化により、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年度は中期計画(2013年度～2015年度の3ヶ年計画)の最終年度となります。3M戦略・グローバル戦略を一層深化させ、「3期連続の営業利益2桁成長」「配当性向30%超」を目指してまいります。

営業利益推移

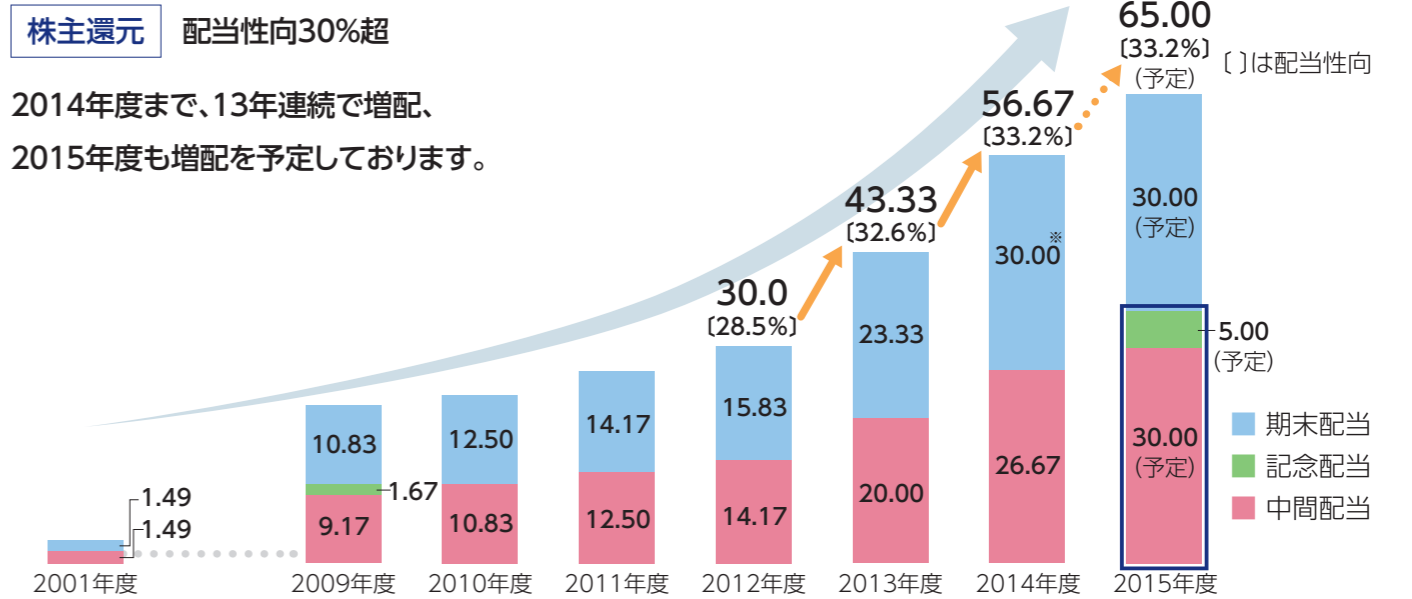
(単位:億円)



※ 当社は2015年度より従来の日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することといたしました。上記のグラフは2014年度までは日本基準、2015年度(予想)はIFRS基準で表示しております。

1株あたり配当額推移

(単位:円)



2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株に分割しております。*上記推移は便宜的に株式分割後ベースに引き直して記載しているため、お手元の配当金通知には「90円」と記載されております。

(ご参考)過去の株式分割について
2012年10月1日付(株式1株につき100株)、2013年4月1日付(株式1株につき2株)に株式分割をしております。

持っておトク、使っておトク!

「au WALLETCARD」 新たなビジネス創出に向けて 着実に拡大



「au WALLETCARD」は累計申し込み数が1,200万件(2015年5月4日現在)に達し、「au WALLETCARD クレジットカード」とあわせて、多くのお客さまにご利用いただき、ご好評をいただいております。

「au WALLETCARD」(プリペイド型)



コンビニエンスストア、ドラッグストア、飲食店、衣料品店、インターネットショッピングなど、世界約3,810万^{*1}のMasterCard[®]加盟店でのお買い物に、チャージ^{*2}(入金)式で繰り返しご利用いただける新しいプリペイド型カードです。

カードのご利用で貯まった「WALLETCARD ポイント^{*3}」は、1ポイント=1円で、au WALLETCARD カードにチャージして、次のお買い物にご利用いただけます。また、au WALLETCARD サイトやアプリから、簡単に残高確認やチャージいただくことが可能です。

プリペイド型カードのため、使いすぎの心配もなく、安心してご利用いただけます。

「au WALLETCARD クレジットカード」



auご利用料金はもちろん、日々のお買い物や公共料金のお支払いにもお使いいただける、おトクなクレジットカードです。

カードのご利用で貯まった「WALLETCARD ポイント」は1ポイント=1円として、「au WALLETCARD クレジットカード」のご利用料金に充当いただくことも可能です。

また、購入した商品を90日間補償する「お買物あんしん保険」や、海外旅行中のアクシデントを補償する「海外旅行あんしん保険」の付帯など、クレジットカードならではの安心サービスも幅広くご提供します。



※1 参考：Nilson Report 2014年3月号

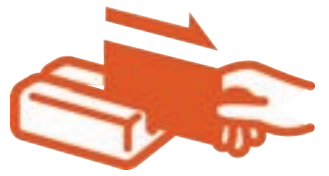
※2 チャージには上限があります。

※3 通常店舗では、「au WALLETCARD カード」の場合200円ごとに1ポイント、「au WALLETCARD クレジットカード」の場合200円ごとに2ポイントが貯まります。なお、ポイントは後日付与で、最大2ヶ月程度かかる場合があります。ポイント数はご利用内容によって異なる場合があります。



お店でのお支払いで、インターネットのお買い物で

「au WALLETCARD」が ますます便利でおトクに



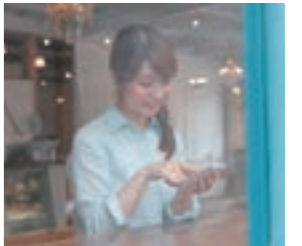
「au WALLETCARD」は、審査不要、年会費・発行手数料も無料です。クレジットカードをお持ちでないお客さまもご利用いただけます。

チャージ(入金) して使う



いろいろな方法で、その場で簡単にチャージ

「auかんたん決済^{*4}」や「じぶん銀行^{*5}」など複数のお支払方法で簡単にチャージができます。また、auショップでは、現金でもチャージができます。



使うと貯まる



コンビニやスーパーなどのお店で貯まる^{*6}

コンビニエンスストアやスーパーマーケット、ドラッグストア、飲食店や家電量販店など、世界約3,810万のMaster Card[®]に加盟している非常に多くのお店でご利用いただけるため、毎日のお買い物でポイントが貯まっていきます。



インターネットのご利用で貯まる

インターネットサイトでの商品のご購入やゲーム、音楽のダウンロードなどにも、クレジット決済と同じようにご利用いただけます。お店でのご利用と同様に、ポイントが貯まっていきます。



貯まるから もっと使える



ポイントアップ店 拡大中

通常は、200円(税込)のご利用につき1ポイントが貯まりますが、2倍以上のポイントが貯まる「ポイントアップ店」は、43社、約28,000店舗に拡大予定です(2015年7月末予定)。貯まったポイントをカードにチャージして、次のお買い物にご利用いただけます。



※4 auかんたん決済：auのスマートフォンやPCなどで購入した商品の代金を、月々のauご利用料金と合算してお支払いいただけるサービスです。

※5 じぶん銀行：KDDIと三菱東京UFJ銀行が共同出資して設立したインターネット銀行です。

※6 一部の店舗・サービスは対象外です。

Topics 1

情報発信の新拠点 「au SHINJUKU」がオープン

2014年11月、KDDIの新たな直営店舗「au SHINJUKU」が東京・新宿にオープンしました。世界一の乗降客数を誇る新宿駅の東口から徒歩1分。KDDI直営店舗としては最大の売り場面積を有します。

1階には豊富な品揃えのスマートフォンケースやアクセサリ商品を展示・販売し、ケータイから広がる新たなライフスタイルをご提案いたします。2階には最新のスマートフォンの展示ブースや契約窓口のほか、ゆっくりお過ごしいただけるラウンジスペースをご用意しました。3階はセミナーフロアとして、スマートフォン教室をはじめとする各種セミナーを開催しています。



1階



2階

au SHINJUKU

住所 東京都新宿区新宿3丁目25-1 ヒューリック新宿ビル1階 フリーコール 0077-7117(無料) 営業時間10:00~20:00 年中無休

店頭で新しいお買い物を体験

この夏、KDDIは国内通信事業者で初めて*となる、店舗を活用したショッピングサービス「au WALLET Market」を開始する予定です。auショップにご来店されるお客さまに、厳選した無農薬野菜や天然水などの商品をご紹介、ご購入のお手伝いをいたします。これまでインターネットショッピングを経験したことのないお客さまにも安心してご利用いただけます。お客さまとの接点であるauショップをより身近で魅力的な空間へと進化させ、新しい体験価値をお届けしていきます。

*2015年5月14日現在

au WALLET
Market



全国のKDDI直営店舗のご紹介

KDDIは、「au SHINJUKU」の他、「au NA GOYA」、「au OSAKA」、「au FUKUOKA」の全国4つの直営店舗を展開しています。

各店ともスマートフォンの最新ラインアップや豊富なアクセサリ商品を取り揃えているほか、

商品購入のご相談から、故障修理などアフターサービスの受付はもちろん、各種セミナーなども定期的で開催し、お客さまに新たなライフスタイルをご提案しております。



au NAGOYA

住所 愛知県名古屋市中区錦3丁目24-20

フリーコール 0077-7056(無料)
営業時間10:00~20:00 年中無休



au OSAKA

住所 大阪市北区大深町3番1号
グランフロント大阪ナレッジキャピタル3階

フリーコール 0077-7139(無料)
営業時間10:00~21:00
※グランフロント大阪の休館日に準ずる



au FUKUOKA

住所 福岡市中央区大名1-14-45
QizTENJIN1階

フリーコール 0077-7123(無料)
営業時間10:00~20:00 年中無休

Topics 2

ミャンマーに MPT直営店舗第1号店がオープン



ヤンゴン中央郵便局

KDDIでは2014年6月から、ミャンマーに住友商事株式会社と共同でKSGM*を設立し、同年9月よりミャンマー国営郵便・電気通信事業者(MPT)と共同事業運営により通信サービスを提供しています。同年11月、MPTで初めてとなる直営店舗がヤンゴン中央郵便局内にオープンし

*KDDI Summit Global Myanmar Co.,Ltd.

ました。直営店舗では、「日本品質」のお客さま対応で、商品購入に関するご相談や携帯電話用のSIMカード、プリペイドカード(TOP-UPカード)の販売を行っています。今後も、ミャンマーの経済や産業の発展、国民生活の向上に貢献するKDDIのチャレンジにご期待ください。



オープニングイベントに参加する安倍首相



オープンしたMPTの直営店舗



お客さまでにぎわう郵便局内

社内座談会!

もっと使いやすく、便利にしたい 社員の声をお届けします



BASIO

miraie

ベシオ シニア向けスマートフォン「BASIO」

見やすさ、聞きやすさに加え、デザインにもこだわったau初のシニア向けスマートフォン

Q スマートフォンは難しいイメージがありますが、使いこなせますか。

天野 シニア世代の方のご意見を伺うと「スマートフォンを使いこなせるのか」と不安をお持ちの方が多くことがわかりました。「BASIO」を開発する際にはその点を配慮し、専用ボタンで電話やメールが簡単に使えるようにしました。また、見やすさ聞きやすさはもちろん、端末デザインにもこだわりました。



山形 シニアの方向けにスマートフォンの様々な使い方をお伝えしている講座「KDDIケータイ教室」に来られる方々は、若々しい方ばかりです。いかにもシニア向けというデザインは敬遠されるので、重要なポイントですね。

Q 料金についてのご相談もありましたか。

天野 シニア世代の方は、ほとんどが電話やメール、カメラ中心の利用なので、まずは手頃な料金プランでスマートフォンを試してみたいと

いう声が多くありました。それにお応えし、55歳以上で「BASIO」をご購入いただいたお客さま向けに、通常よりも手軽な「シニアプラン(V)」をご用意いたしました。

山形 ケータイ教室では、auショップで、使い方にあった料金プランの相談をしてほしいとお話しています。安心、満足してお使いいただくのが一番ですからね。

Q シニア向けスマートフォンの利用で期待することは何ですか。

天野 通常のスマートフォンには、画面に100個前後のアプリが並んでいることが多いです。しかし、「アイコンがたくさん並んでいるだけでストレスになる」という声もあり、「BASIO」は画面をすっきり見せる工夫もしています。

山形 アプリのダウンロードを制限するという話もあったようですね?

天野 はい。そういった検討もありましたが、調査の結果、「制限しなくてもよい」という声が多く返ってきました。必要な配慮はするが、自由度が高いというのが、「BASIO」開発の基本方針です。

スマートフォンには、スマートフォンならではの多様な活用方法や楽しみがあります。「BASIO」で、ぜひスマートフォンの価値や楽しさを知っていただけたらと思っています。



BASIO開発担当
天野 太郎



ケータイ教室講師
山形 豊



miraie開発担当
小田 智哉



ケータイ教室講師
大久保輝夫



ケータイ教室担当
引地みち子

ミライエ ジュニア向けスマートフォン「miraie」

安心・安全に配慮した機能満載のau初のジュニア向けスマートフォン

Q ジュニア世代を取り巻くスマートフォンの現状はどうでしょうか。

大久保 子ども向けにスマートフォンや携帯電話の安心・安全な使い方を伝える講座「KDDIケータイ教室」の講師で学校に伺うと、その利用に関わるトラブルの相談を受けることがあります。大人も子どもも、利用する前に問題点やリスクがあることを、正しく知る必要があると痛感しています。

小田 子どもたちは最新の情報通信機器を全く抵抗なく使います。だからこそ、子どもたちの安心・安全に配慮したものが必要なのだと思います。

Q 開発時に、どのような点にこだわりましたか。

小田 子どもの安心・安全を最優先しながらも、子ども自身も楽しめるように配慮し、企画・開発しました。

「miraie」では、子どもたちが安全に楽しめるアプリを厳選するとともに、利用するには保護者の許可が必要なため、安心してお使いいただけます。また、子どもたちがスマートフォンの使いすぎや、危険なサイトにアクセスしないよう、各種制限機能を充実させ、Webフィルタリング機能も搭載しています。

引地 「なぜこのサイトにアクセスできないのか」といった子どもの疑問の声をきっかけに、家族で話し合い、ルールを作ってほしいですね。

ところで子どもたちにマナーやルールを伝える機能もついていますよね?

小田 そうです。よくない言葉を入力しようとすると、「ちょっと待って!」と注意が出てきます。子ども自身に“気づき”を与え、考える習慣を身につけるきっかけになればと考えています。

大久保 メールで送った言葉が相手にどう伝わるのか、考える力や想像力がとても大切ですよ。

Q ジュニア世代で今後どのような点に力をいれていきますか。

引地 保護者の方が安心してお子さまに持たせられる情報通信機器を提供し、子どもたちが自らの判断で危険を回避し、有効に使う方法を伝えていくことが重要だと思います。



小田 安心・安全を確保できるスマートフォンに改善しながら、ケータイ教室のようなソフト面での対応と融合していきたいです。

KDDIケータイ教室のご案内 → <http://www.kddi.com/lesson>

KDDI研究所 所長インタビュー

世界トップレベルの研究開発で お客さまの声にお応えしたい

KDDIグループの研究開発の中核として、新たな情報通信技術の開発に取り組むKDDI研究所。最良なコミュニケーション社会の実現に向けた想いを聞きました。

Q KDDI研究所で最も力を入れている分野はなんですか。

次世代の無線通信技術です。現在の通信はインターネットを使ったり、人と人とのコミュニケーションが主流ですが、これからは人が入れない被災地で遠隔でブルドーザーを動かしたり、外出先から家電を操作するなど、スマートフォンと車・ロボット・家電といった機械と機械のコミュニケーションも可能になります。また、より大容量のネットワークで、より臨場感のある映像を楽しんでいただけるようにもなります。このような世界に先駆けた技術で、お客さまに笑顔を届けることを目指しています。



KDDI研究所
代表取締役所長
中島 康之

Q 技術開発のアイデアはどのように生まれているのでしょうか。

まずは「こんなことができれば便利ではないか」という研究員の小さな想いから研究開発に入ります。常にアンテナを張るため、海外の展示会や学会にも積極的に参加しています。また、実際のお客さまの声をお聴きしたKDDI担当者とともに、新しい技術の実現に向け、試行錯誤しながら開発することもあります。

Q シニア・初心者の方のスマートフォン利用をサポートする技術も開発していますね。

通信技術で世の中のハードルを低くしたいという想いがあります。スマートフォン初心者といってもニーズはさまざまです。それぞれに最適な使い勝手、そして、少し間違えた操作をしても危険につながらない安心・安全を確保することで、快適なお客さま体験を提供していきたいと思っています。

シニア・初心者向け文字入力支援技術

スマートフォンに興味はあるものの、シニアや初心者の方からは「操作が難しく、文字入力も難しそう」といった声をよく聞きます。

KDDI研究所では、これらの声に応えるべく「シニア・初心者向け文字入力支援技術」を開発しています。任意で収集したお客さまのデータから、初心者が文字入力のどこでつまずきやすいかを分析し、端末の画面上でお客さまにアドバイスする技術です。

お客さまへの本機能のご提供に向け、一層の精度向上に努めています。



「au OSAKA」 株主さま向けスマートフォン体験会レポート

2015年2月、KDDI直営店舗「au OSAKA」で、「スマートフォン体験会」を開催しました。お1人1台の端末を使い、スマートフォンならではの文字入力、地図検索やカメラ撮影、アプリの使い方などをご体験いただきました。ご参加の皆さまからは、「スマートフォンを使ってみたかった」など嬉しいお言葉をいただきました。



次回は au SHINJUKUで開催します!

株主優待のご案内

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝し、当社事業へのご理解をより深めていただくため、au端末ご購入の際にご利用いただける優待券をお送りいたします。最新機種の新規ご購入、機種変更に、どうぞご利用ください。



※毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、1単元(100株)以上保有されている株主さまを対象といたします。
※保有いただいている株式数と保有期間に応じた券面額の優待券をお送りいたします。

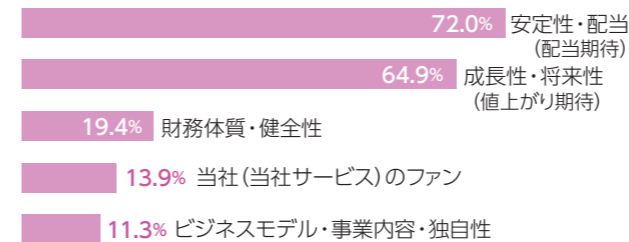
アンケート結果のご報告

株主通信 2014年冬号にて実施したアンケート結果の一部をご報告いたします。いただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の経営や株主さま向けの情報発信の参考とさせていただきます。

お忙しい中、ご回答いただき、誠にありがとうございました。

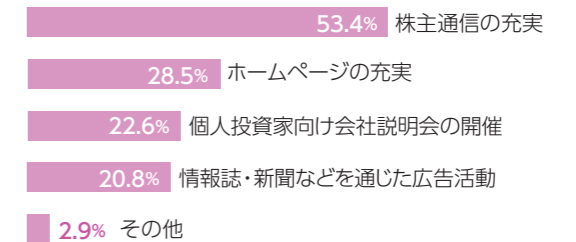
有効回答数=1,525件 複数回答可

Q 当社株式を購入された理由をお聞かせください。



2014年度まで13年連続で増配しております。今後も安定経営に努めてまいります。

Q 当社の株主さま・投資家向けの情報発信について、希望されることをお聞かせください。



当社の魅力をわかりやすくお伝えできるよう、充実した情報発信に努めてまいります。

株主さまアンケートご協力をお願い

同封のチラシに、株主さまアンケートや、「タブレット体験会」及び「施設見学会」についての応募方法を記載しております。ご参照のうえ、奮ってご応募ください。

詳しくは同封の
チラシを
ご覧ください。



会社概要 (2015年6月17日現在)

商号 KDDI 株式会社
 創業 1984年6月1日
 事業内容 電気通信事業

取締役及び監査役

取締役会長 小野 寺 正
 代表取締役社長 田中 孝 司
 代表取締役執行役員副社長 両角 寛 文
 代表取締役執行役員専務 高橋 誠
 代表取締役執行役員専務 石川 雄 三
 取締役執行役員常務 井上 正 廣
 取締役執行役員常務 福崎 努
 取締役執行役員常務 田島 英 彦
 取締役執行役員常務 内田 義 昭
 取締役 久芳 徹 夫
 取締役 小平 信 因
 取締役 福川 伸 次
 取締役 田辺 邦 子
 常勤監査役 三瓶 美 成
 常勤監査役 小林 洋
 常勤監査役 阿部 健
 監査役 天江 喜七郎
 監査役 平野 幸久

株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数 1,400,000,000 株
 発行済株式の総数 896,963,600 株
 株主数 57,236 名

株式分割のお知らせ

2015年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき3株の割合をもって分割しました。2015年4月1日以降は、発行可能株式総数4,200,000,000株、発行済株式の総数2,690,890,800株となっております。

大株主*

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)	持株比率 (議決権比率) (%)
京セラ株式会社	114,535	12.76	13.71
トヨタ自動車株式会社	99,497	11.09	11.91
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	47,155	5.25	5.64
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	36,139	4.02	4.32
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	23,984	2.67	2.87

*当社は自己株式61,984千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
 また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(注)株式数は千株未満を切捨てて表示しています。

株主メモ

お知らせ 住所変更その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

**期末配当金
支払株主確定日** 毎年3月31日

**中間配当金
支払株主確定日** 毎年9月30日

公告方法 電子公告
<http://www.kddi.com/corporate/ir/e-public-notice/>

※事故その他により、やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人
特別口座管理機関** 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎ (0120) 232-711

特別口座に記録された株式に係るお手持用紙のご請求は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話番号(自動音声応答)及びインターネットでも24時間承っております。

☎ (0120) 244-479 (東京)

☎ (0120) 684-479 (大阪)

インターネット

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

定時株主総会に関するご報告

2015年6月17日開催の当社「第31期定時株主総会」の決議の結果につきましては、インターネット上の当社のウェブサイト(<http://www.kddi.com/corporate/ir/stock-rating/meeting/20150617/>)に掲載しておりますのでご覧くださいませようお願い申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

KDDI 株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエアタワー
 (本店所在地: 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)
<http://www.kddi.com/>

